

議決事項第8号

規 則 名	理 由	要 旨
<p>奈良県立高等学校等の管 理運営に関する規則の一部 を改正する規則</p>	<p>県立学校における事務の 簡素化をはかる等のため、 所要の改正をしようとする ものである。</p>	<p>1 事務の簡素化のための規定整備 県立学校における事務の簡素化をはかるため、校長から教育長への 報告事項の見直し等を行う。 (第26条関係、第27条関係)</p> <p>2 その他所要の規定整備を行う。</p> <p>3 施行期日 令和2年4月1日から施行する。 (改正附則関係)</p>

奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則の一部を改正する規則（案）

奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則（昭和三十二年十一月奈良県教育委員会規則第八号）の一部を次のように改正する。

第二十条の二中「教科・科目」の下に「総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間」を加える。

第二十六条第二号中「一週間」を「三十日」に改め、「事故」の下に「（教育活動において発生したものに限り。）」を加える。

第二十七条第二項中「第十一号様式による」を「校務支援システム（電子計算機を利用して、職員の校務等に関する事務の処理を行うシステムで奈良県立教育研究所長が管理するものをいう。）により、」に、「作成し、八月、十二月及び三月の末日から十日以内に教育長に報告しなければ」を「作成しなければ」に改める。

第三十二条の四第二項中「及び指導」を「指導及び助言」に改める。

第十一号様式を次のように改める。

第十一号様式 三三三

附 則

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

改 正 案	現 行
<p>(単位の修得)</p> <p>第二十条の二 校長は、生徒が教育課程に従つて、<u>教科・科目、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間</u>を履修し、その成果が教科・科目、<u>総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間</u>の目標から見て満足できると認められたときは、当該学年の学年末において、その教科・科目、<u>総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間</u>について所定の単位を修得したことを認定しなければならない。ただし、特に必要があると認める場合には、単位の修得の認定を学期の区分ごとに行うことができる。</p> <p>(事故等の報告)</p> <p>第二十六条 校長は、児童生徒等に関し、次に掲げる事故等が発生した場合は、第十号様式により、速やかに教育長に報告しなければならない。</p> <p>一 略</p> <p>二 <u>三十日以上治療を要すると認められる事故</u>（教育活動において発生したものに限る。）</p> <p>三 略</p> <p>(出席簿及び出欠席報告)</p> <p>第二十七条 略</p> <p>2 校長は、<u>校務支援システム（電子計算機を利用して、職員の校務等に関する事務の処理を行うシステムで奈良県立教育研究所長が管理するものをいう。）</u>により、児童生徒出欠席月末統計表を作成しなければならない。</p> <p>(学校医等)</p> <p>第三十二条の四 略</p>	<p>(単位の修得)</p> <p>第二十条の二 校長は、生徒が教育課程に従つて、<u>教科・科目</u>を履修し、その成果が教科・科目の目標から見て満足できると認められたときは、当該学年の学年末において、その教科・科目について所定の単位を修得したことを認定しなければならない。ただし、特に必要があると認める場合には、単位の修得の認定を学期の区分ごとに行うことができる。</p> <p>(事故等の報告)</p> <p>第二十六条 校長は、児童生徒等に関し、次に掲げる事故等が発生した場合は、第十号様式により、速やかに教育長に報告しなければならない。</p> <p>一 略</p> <p>二 <u>一週間以上治療を要すると認められる事故</u></p> <p>三 略</p> <p>(出席簿及び出欠席報告)</p> <p>第二十七条 略</p> <p>2 校長は、<u>第十一号様式による児童生徒出欠席月末統計表</u>を作成し、八月、十二月及び三月の末日から十日以内に教育長に報告しなければならない。</p> <p>(学校医等)</p> <p>第三十二条の四 略</p>

改正案	現行
<p>2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は、県立学校における保健管理に関する専門的事項に関し技術、指導及び助言に従事する。</p> <p>3 略、</p>	<p>2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は、県立学校における保健管理に関する専門的事項に関し技術及び指導に従事する。</p> <p>3 略</p>

第11号様式 削除

現行

第11号様式 (第27条関係)

児童生徒出席状況報告書 (年 月分)
奈良県立何学校何課程

学年・年次	学級	在籍生徒数	休学生徒数	出席生徒数	全欠生徒数	出席率	備考
第 1							
	小計						
第 2							
	小計						
第 3							
	小計						
第 4							
	小計						
	総計						

備考 1 出席率は、
$$\left[\frac{(\text{授業日数}) \times (\text{在籍者数}) - (\text{欠席総日数}) \times 100}{(\text{授業日数}) \times (\text{在籍生徒数})} \right]$$
に

よって表してください。

2 この場合の在籍生徒数は休学生徒数を除外してください。

3 本表は課程別に作成してください。